



潮来市

平成17年5月

第117号

議会だより

発行責任者 議会議長 塙 信 一

編集者 議会広報編集委員 〒311-2493 茨城県潮来市辻626 電話0299-63-1111(FAX)0299-80-1100



改装した市役所本庁舎

第一回定例会

◎3月定例会概要……………2～3	◎議員活動日誌……………17
◎平成17年度予算……………4～5	◎議会を傍聴して……………18～19
◎特別委員会報告……………6～7	◎議会行事・編集後記……………20
◎一般通告質問（9名）……………8～16	

こんなことを決めました

平成17年度予算など38件の議案等を審議

第1回定例会は、3月7日から18日まで12日間にわたり開催されました。
 主な議案は、承認1件、条例の制定・改正12件、契約1件、補正予算7件、予算10件、意見書1件、同意2件、請願・陳情2件その他2件です。
 一般通告質問については、9人の議員が登壇し、執行部の所信が問われました。

条例制定・改正

議員定数三二人に改正

潮来市議会議員の定数を定める条例の一部が次のとおり改正されました。

次に行われる一般選挙より適用となります。(詳細は、議員定数調査特別委員会報告を参照)

議員定数

二四人
←
二二人

人事

助役の選任

潮来市助役に次の方が選任されました。

小沢 一廣さん

永山二一〇七番地四七
昭和十七年四月十日生

教育委員会委員の任命

潮来市教育委員会委員に次の方が任命されました。

前島 益男さん

上戸二一九四番地一
昭和十九年二月六日生



会議経過

三月七日(月) 本会議

市長所信表明
 議案審議
 請願・陳情審査
 出席議員 二四人
 傍聴者 二人

三月八日(火) 本会議

議案審議
 出席議員 二四人
 傍聴者 〇人

三月九日(水) 委員会

議員定数調査特別委員会

三月十日(木) 委員会

総務委員会
 環境経済委員会

三月十一日(金) 委員会

教育福祉委員会
 建設委員会

三月十二日(土) 休会
 三月十三日(日) 休会
 三月十四日(月) 休会

三月十五日(火) 本会議

一般通告質問
 出席議員 二四人
 傍聴者 十九人

三月十六日(水) 本会議

一般通告質問
 出席議員 二三人
 傍聴者 十八人

三月十七日(木) 休会

三月十八日(金) 本会議

追加議案審議
 委員会付託案件審査
 出席議員 二四人
 傍聴者 三人

第一回定例会の傍聴者は
 四二人でした。

議会を傍聴して 市の動きを 知りましょう

受付けで住所・氏名を記入すれば
誰でも自由に傍聴できます。



関係機関に意見書を提出しております

潮来市立潮来第二中学校前 (県道大賀・延方線) 整備に関する意見書

かねてより念願でありました潮来第二中学校改築工事も本格工となり、平成19年完了の予定です。

そこで、懸案であります潮来第二中学校前県道（大賀・延方線）整備の件について、潮来市議会の総意を以ってお願い申し上げます。

県道大賀・延方線のうち、国道51号線より潮来第二中学校までの区間は、昭和43年10月14日付、建設省告示第3077号を以って、潮来都市計画街路（2・2・2延方、大賀線巾員16m）として計画決定され、昭和59年3月、完全舗装され開通いたしました。潮来第二中学校前の延長約50mの区間だけは、現在も旧道のまま狭く、その上歩道もなく、生活道路としてはもとより、児童・生徒の通学路としても非常に危険な状況となっております。

新校舎竣工に際しまして、児童・生徒の安全な通学路を確保するのも私共に与えられた使命かと考えます。

県当局のさらなるご努力を頂きまして、当県道が一日も早く整備されますよう強く願うものであります。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出いたします。

平成17年3月7日

茨城県潮来市議会

請願・陳情の審査結果

議案番号	件 名	議決年月日	結 果
平成16年 請願第6号	潮来市議会議員の定数削減に関する請願 (16・9・8 議員定数調査特別委員会付託)	17・3・18	不 採 択
陳情第1号	地方財政の拡充を求める陳情書 (17・3・8 総務委員会付託)	17・3・18	不 採 択

〇〇〇〇に関する
請 願 書

紹介議員
氏 名
署名又は
記名押印

〇年〇月〇日

潮来市議会議員長殿
(提出者)
住 所
氏 名 印

〇〇〇〇に関する請願
要旨

理由

議会に請願(陳情)される方のために

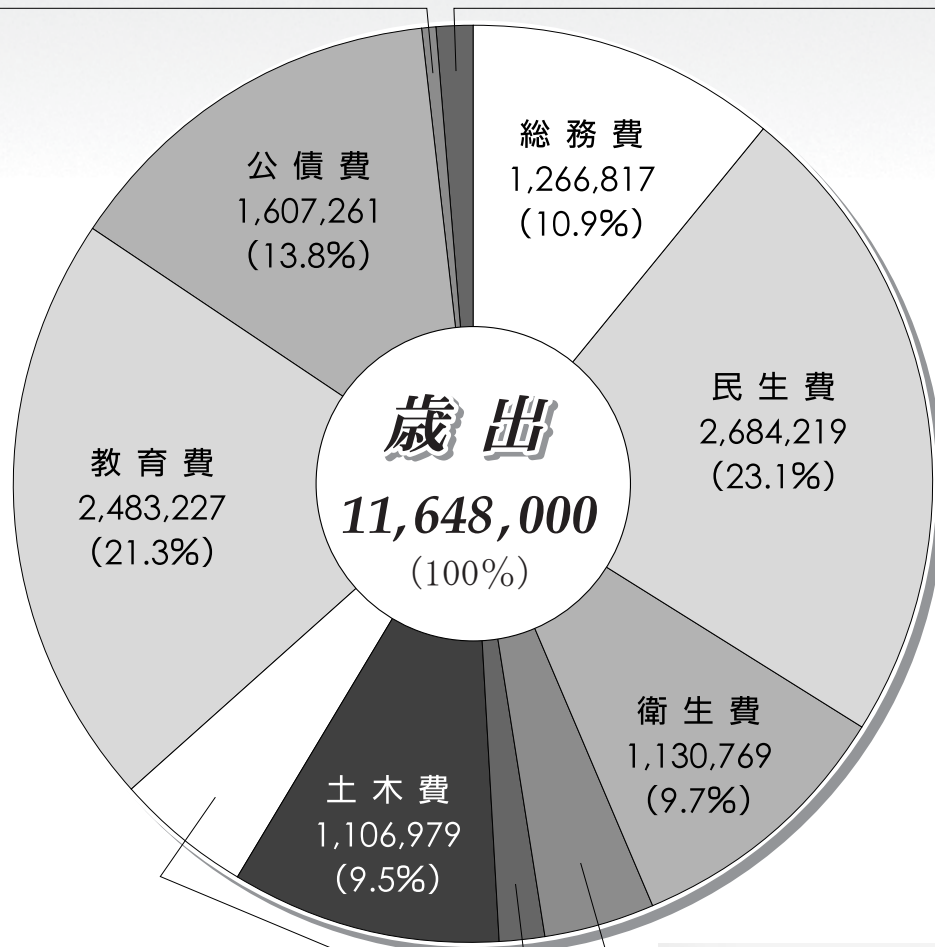
- 一、様式 請願書は先の様式に準じ邦文で作成してください。
- 二、紹介議員 請願には紹介議員が必要であり、表紙に署名又は記名・押印を受けて下さい。
- 三、紹介議員のない場合 議員の紹介を得られなかった方は陳情書として下さい。
- 四、提出部数 請願書は一部提出して下さい。
- 五、提出期限 定例会の二週間前に議会運営委員会が開催されますので、その前日までに提出して下さい。それ以降に提出されたものは、次の定例会の審議となりますのでご注意ください。
- 六、問い合わせ 請願手続きなどについては、議会事務局にお問い合わせ下さい。

116億4,800万円 で可決

(単位：千円)

予備費 5,000 (0.1%)

議会費 154,481 (1.3%)



消防費 564,635 (4.8%)

商工費 186,308 (1.6%)

農林水産業費 438,304 (3.9%)

工事中の
市立図書館



平成17年度

一般会計予算

全会一致

歳入

11,648,000

(100%)

繰入金 442,998 (3.8%)

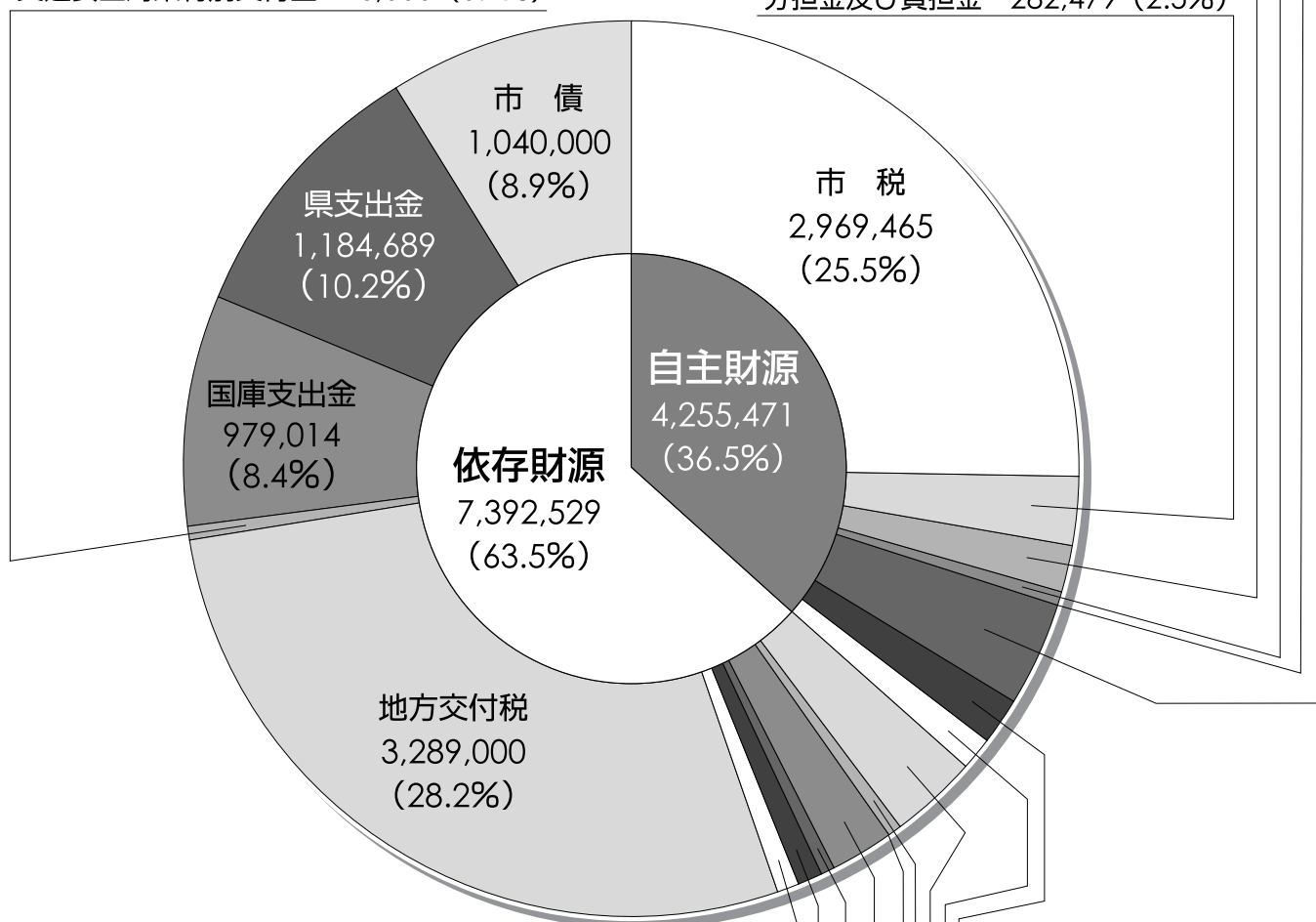
寄付金 55 (0.0%)

財産収入 5,353 (0.1%)

使用料及び手数料 200,805 (1.7%)

分担金及び負担金 282,479 (2.5%)

交通安全対策特別交付金 6,000 (0.1%)



繰越金 200,000 (1.7%)

諸収入 144,191 (1.2%)

地方譲与税 367,000 (3.2%)

利子割交付金 15,961 (0.1%)

配当割交付金 4,309 (0.0%)

地方特例交付金 95,752 (0.8%)

自動車重量税交付金 105,000 (0.9%)

ゴルフ場利用税交付金 40,000 (0.4%)

地方消費税交付金 265,277 (2.3%)

株式等譲渡所得割交付金 527 (0.0%)

議員定数調査特別委員会報告

平成17年3月18日

潮来市議会議長 塙 信一 様

議員定数調査特別委員会
委員長 小峰 義雄

議員定数調査特別委員会調査報告書

平成16年第2回潮来市議会定例会において、本委員会に付託された「潮来市議会議員の定数に関する調査」を終了したので、その経過及び結果を次のとおり、会議規則第103条の規定にもとづき報告いたします。

記

1. 委員会等開催日

- ①委員会 平成16年7月23日・9月16日・11月30日
平成17年1月28日・2月4日・3月9日
- ②小委員会 平成16年11月5日
平成17年1月12日・2月25日

2. 調査の経過と結果

平成11年の地方分権一括法において、地方自治法も改正され、地方公共団体の議員定数については、これまでの法定定数制度から地方公共団体の条例で定めなければならなくなった。潮来市の場合、平成13年4月の旧潮来町・旧牛堀町の合併に伴い、合併特例法の適用により34人の議員で平成16年2月まで議会を構成していたが、この地方自治法の改正により、人口段階区分からすると「人口5万人未満の市」に属することになり、議員定数の上限は26人となった。平成14年12月定例会において、合併の効果、財政状況、その他諸々の要因等を考慮し、「潮来市議会議員の定数に関する条例」を地方自治法による上限の26人から2人減の24人と定め、平成16年2月の潮来市議会議員選挙より適用し、現在24人の議員で議会を構成しているところである。

地方分権の推進に伴い地方公共団体の担う役割は、ますます増大し、住民の代表機関として、地方公共団体の最終意思を決定する議会の役割と責任は、格別に重くなってきている。当委員会は、改選後、間もない時期ではあるが、当市の将来を見据えあらゆる角度から当市にふさわしい議員定数をさらに調査検討するため、平成16年第2回潮来市議会定例会において、全議員で構成する特別委員会として設置された。

本委員会においては、委員会の実効を上げるために小委員会を設置し、各方面より資料収集を行い協議を重ねるとともに、その内容を各委員に掲示しながら、全国の類似団体及び県内市町村等との比較、さらには市内住民代表者の意見等の聴取を行うなど慎重に調査検討を進めてきたところである。

議員の定数は、まさに議会組織、構成の根幹となる重要な要素を占めている。このため、分権時代の要請に応えた議会の活性化という観点も十分に踏まえ、現状定数の多少を論ずるにとどまらず、議会及び議員が本来の機能を十分に発揮するにはどれだけの定数が必要か、民意の反映にはどの程度の議員数が必要かといったことに視点を置き、市の実情に応じて、自主的・主体的に、かつ慎重に定数について議論したところである。

議員定数を調査するにあたっては、①議員定数は、「行政改革」や「経費削減」といった観点も含め、人口や職域等に応じた住民の多様なニーズや意思を正確に反映させることが大切であり、全住民を代表するにふさわしい数を確保しなければならない。②議員定数は、行政が複雑・多様化する中で、専門化、細分化される事件を能率的に自由に討議する委員会が、有効・適正に活動することができるような数を確保

しなければならない。③住民の代表機関として、地方議会の役割と責任が重くなる中で、議員定数の問題は、機能強化・活性化の観点の基本として考えなければならない。という事項に留意すべきものとした。

具体的な調査としては、まず、「全国市議会の議員定数に関する調査表」、「全国同規模市調査表（人口32,000人前後の市）」、「県内市町村調査表」等を収集した。資料の中には、市町村合併によって自治体の再編が行われており、合併前のもの、合併後の在任の特例を使っているものもあり、単純には比較できないものもあるが、それらを考慮した上での参考資料として、これらの資料を基に分析調査を行った。

「全国市議会議長会の議員定数に関する調査表」によると、全国の約98.1%の市が議員定数の削減をしており、平均削減率は23.6%である。「全国同規模市調査表」によると、議員定数は、15～24人の間で条例定数が定められており、特に、21人ないし22人が多い傾向にあった。「県内市町村調査表」によると、議員定数は、市町村平均が20人、市平均25人、町村平均17人となっている。潮来市は、24人であるので、平均削減率から見れば若干多い定数となっている。

また、経費の面からも調査を行った。潮来市の場合、議員1人当たりにかかる経費は、年間約400万円である。報酬259,000円、政務調査費については支給されていない。特に報酬額においては、全国5万人未満の市平均345,000円、県内の市平均404,000円、県内の町村平均280,000円、県内の市町村平均313,000円となっており、いずれよりも潮来市は低い数値となっている。また、議員全体に対する住民1人当たりの負担額についてみると、潮来市の場合年間2,358円、県内の市平均6,455円、県内の町村平均2,450円、県内の市町村平均3,512円となっており、いずれも潮来市は数値的に下回っており、住民の負担はそれぞれの平均よりも低く、軽い負担となっている。

次に、参考人制度を利用して、市内住民代表者10人の方から意見聴取を行った。それぞれの方々から貴重なご意見を頂いたところであるが、定数に対する意見としては、18人～24人の間で意見は分かれたが、20人という意見が多かった。また、数人の方からは、潮来市の議員報酬額が低いということも認識されており、定数の削減にあわせ報酬額の引き上げということも言及されている。

以上のことを踏まえ、小委員会で協議した結果、大幅な削減は不可能であるが、2～4人の間での削減で論議され、小委員会の案として、削減2人（定数22人）と削減4人（定数20人）の2案を持って、特別委員会に示すことになった。特別委員会においては、小委員会の2案が示され様々な論議がなされた。論議が尽くされたとして、最終的な採決を投票で行ったところ、2人削減（定数22人）14票、4人削減（定数20人）9票という投票結果となった。結果として、次期潮来市議会議員選挙に向けた潮来市議会議員の定数は、22人とすべきと判断したところである。

また、今回は、議員定数に限ったものであるが、次期潮来市議会議員選挙までには、委員会構成、報酬額、政務調査費等の問題についても、今後さらに検討していかなければならない課題と考える。

議会に対する市民の期待と信頼を一層高めていくためには、議員一人一人がこれまで以上に住民に耳を傾けながら、さらに自己研鑽を努めていくことが肝要であると認識するところであります。当委員会の調査結果が、議会改革の一助となり、市民に信頼される清浄で健全な市政の発展に寄与することを強く望み、議員定数調査特別委員会の報告といたします。



議員定数調査特別委員会



参考人意見聴取

一 般 通 告 質 問



須田 富次 議員

国民健康保険証の パウチ加工を

国民健康保険証は、病気やけがをしたとき、皆さんが国保に加入していることの証明書であります。小さな紙片ですが、大切な一枚であります。保険証を紛失した場合、その保険証でお金が借りられる、他人に利用されたりします。

そこで、犯罪防止の一環として、他の市町村では既に始まっているところもありますが、保険証に写真を添付したらどうでしょうか。

この件につきましては、最初ですから強制ではなく、可及的に希望者の申し込みをとったらいかがでしょうか。

関係機関との調整が必要

佐野市民福祉部長

国民健康保険証につきましては、平成十五年四月一日から茨城県の全市町村で一斉にカード化が導入されております。このカード化が導入された折に、県が中心となりまして、医療機関等の窓口での混乱を防ぐため、医師会、市町村、県で申し合わせにより、大きさ、色調、更新時期について統一しようということ、現在のカード化に至っております。議員さんの申しますとおり、保険証の形を変えるとなりますと、各関係機関との調整が必要となります。保険証の管理につきましては、いろいろな問題が起きておりますので、十分注意していただくよう喚起しているところではありますけれども、住民等の要望も見極めまして、要望が多いようであれば、関係機関との調整をして対処したいと考えています。

老人健康保健の 負担割合について

老人保健でお医者さんにかかるときの負担割合について伺います。①二割負担の方でも一割となる場合があると聞いており

ますが、その辺はどうか。②一定以上の所得者の負担割合は二割と聞いておりますが、一定以上の所得者とはどういう方か。

規定による負担額

佐野市民福祉部長

老人保健の負担につきましては、一割負担の方と二割負担の方がおります。通常一割負担でありますけれども、課税所得が一二四万円を超えている人が老人保健受給者またはその他の七〇歳以上の方がいらっしゃる家庭では、二割の負担となります。その際に、一二四万円を超えている方は二割負担となる。その中で、老人受給者が一人の世帯の場合には、収入金額が四五〇万円以下の場合の方につきましては一割負担となります。

また、受給者が二人以上いる世帯の場合には、収入合計額が六三七万円以下の場合には一割負担という規定になっております。

ペイオフ完全対応について

四月一日よりペイオフの全面解禁が確定しております。解禁に際しまして、本市ではどのような公金保全対応策をお考えか

お伺いいたします。

①現在、取引金融機関はいくつありますか。

②市として恩恵はありますか。

③準備態勢は。

恩恵はない

萩原収入役

①常陽銀行、東日本銀行、関東つくば銀行、水戸信用金庫、佐原信用金庫、行方農業共同組合、潮来郵便局、中央労働金庫の八金融機関であります。

②恩恵はありません。

③市といたしましては、各金融機関と調整中であり、借入金と相殺できる基金については、定期預金とし、他の公金については決済用預金に三月末までに全額移行し、公金の管理運用に万全を期してまいります。

駐在所の統合

麻生警察署管内の事件の六割を潮来市が占めております。さらに事件が発生して、交番に駆け込んで警察官が留守のときがあると聞いておりましたので、早急に警察官の増員要請をお願いしてありますが、その後の交渉結果、進捗状況をお伺いいたします。

増員は無理との回答

久保本総務課長

昨年九月の定例会後、市長が麻生警察署へ警察官の増員の要望書を提出しました。須田議員を初めとする関係者の皆様方からも多数、警察に対していろいろな働きかけをして頂いておりまして、まことにありがたいと思っております。

しかしながら、警察署の警察官の増員は、どうしても無理であると回答がありました。その後、麻生警察署長から平成十七年度から潮来地区交番に交番相談員一名が配置になるとの連絡がありました。この交番相談員は、交番の警察官の不在が多いことの解消のために、交番が不在にならないようにするために、茨城県警が警察官OBを嘱託員として採用し、空き交番対策として任務につくというものです。

(その他の質問)

◎行方郡と潮来市の人口の比較について

一 般 通 告 質 問



篠塚 貴美子 議員

潮来公民館の修繕について

潮来公民館は市民の集う場所として、大変市民に利用されています。一月に足場が組まれていましたが、何の工事だったのですか。平成四年に開館、十四年を経過しようとしています。第一会議室の天井は雨漏りによるしみができた跡があります。昨年の台風二二号の際には、調理室に入る通路の天井から雨漏りがしてきました。唯一、三〇七固定席のある豪華な潮来公民館です。未永く市民が利用できる場所として手入れが必要です。既存の建物に対して点検する決まりがあるのかどうか伺います。

屋根の改修工事をした

内田教育次長

第一会議室の雨漏りのため屋根の改修工事をしたものです。調理室に入る通路の天井からの雨漏りですが、補正予算で間もなく修理されます。既存の建物の点検は法定と任意のものがあ

り、保守点検は電気等、消防用設備、エレベーター等は、定期的に点検しています。公民館ですが、老朽化も見えてきまして、順次修繕していきたい。

公民館の駐車場について

潮来公民館で催し物があるときには、車をどこに駐車できるかが問題なのです。二丁目信号機横の駐車場を一般の人が占用していると聞きますが、それについての対処方法をとられていますか。

駐車場の料金は幾ら支払っていますか。公民館の隣に三六台収容できるようになり、その駐車場に間に合うならば、返したら如何でしょうか伺います。

駐車場不足を解消

内田教育次長

潮来公民館で大きなイベントが開催されますと、駐車場がふさがっていて車を止められないという状況でしたが、平成十四年十月一日より三六台の駐車場を確保いたしました。

小池さん脇の駐車場の件ですが、十六年度の借地料は、年間五〇万円です。地権者の方に返還することで交渉しています。

公民館の現状は

経費削減のために公民館の清掃事業は、年一回、大勢の人が集う場所としては少ないのではないのでしょうか。その清掃料金は幾らですか。公民館を常に利用しているグループは、幾つありますか。今の現状を理解してもらうために、一堂に集めて利用者会議を提案いたします。

また、その利用しているグループが、公民館に対して、ボランティアをしてもらう考えは如何でしょうか。手入れの行き届いた公民館になると思います。市としての考えを伺う。

清掃の委託は年間三〇数万円

内田教育次長

公民館の清掃ということ、職員には自ら清掃することで指示はしております。清掃の委託料年間三〇数万円です。利用する方のご協力をいただきながら、進めていければと思っています。利用者が利用しやすいように会議を持ち、やっていければと思います。

公共施設に対するマナーについて

公共施設に対する使用のマナーが悪いです。和室の障子の破れ、他もろもろ管理が行き届きにくく、公共施設使用に対するマナーを大人たちにも子供たちにも、どう向き合えばよいかわう。

今、社会力、常識力がない

内田教育次長

マナーの問題ですが、今はそういう社会力、常識がない方もいます。折を見つけないが、指導教育ができればと思っています。

EMぼかしについて

地域女性団体が十年くらい環境課の指導で、生ごみ減量を目的としてEMぼかし作りをしています。九月の議会で学校の残飯が三〇〇キロも出ることが分かりました。その生ごみを焼却するだけでなく、有効利用として堆肥づくりを提案いたしました。市としての考え方を伺います。

環境教育の一環

内田教育次長

学校給食の残飯すべて有効利

用するのは難しく、一部の小学校で有用微生物を利用して試験的に堆肥化しているのが現状です。EMぼかし菌による堆肥づくりは、環境教育の一環としてとらえております。

ノロウイルスの感染性胃腸炎について

高齢者施設で一月ごろ相次ぎノロウイルスによる感染性胃腸炎が発生しました。潮来市の老人施設での発生はありましたか。食中毒の原因としては、一般的で小型球菌ウイルスです。感染しやすいので早期対応をして拡大を防ぐことを考えていますか。入所者に対する健康管理、介護士の教育徹底を図り安心して生活ができるようにしているのかどうか伺います。

昨年四月に老人施設で発生

佐野市民福祉部長

潮来市の社会福祉法人で発生があり、それ以降は起きておりません。

保健所と連携を密にし、関係機関への予防マニュアル、広報によります掲載等を十分していきたいと考えております。

一 般 通 告 質 問



大平 幸一 議員

前川整備連絡会について

昨年十二月二二日に、国・県・市と前川の排水機場について、会議が開催されましたが、内容を詳しく報告願います。

前川下流部で合意

今泉市長

市としては、連絡会に出席するまでは、排水機場は米島閘門に建設をお願いしたいという考えを持っておりました。周辺の観光にも対応できる、そして、水辺環境の観点からも、道の駅そして延方干拓の南側の幹線用水路、そして前川と一体的な開発計画が市として良いだろうと考えており、米島閘門に排水機場を作ろうという国の考えに同調しました。しかし、実現できないため、一日でも早く建設が

できる場所にすべしという提案をしたところです。

国からの考えは、米島閘門への設置は、前川から七・二キロ、前川の水位低下にはかなりの時間がかかり、効率面での課題があり、県の考えとも一致する訳ではありません。米島側に用水路を使って導水を図るということは、河川化をしなければなりません。土地改良の管理から、市または県の管理下にするということは、相当管理費用もかかる訳であります。そういう点から、も難色を示されていたところであり、国からは一日でも早く、効率性から考えても、前川の下流部に再度提案をしたいと話がありました。

県並びに土木事務所の（一級）河川前川は潮来土木事務所が管理しております（考えは、前川の治水対策は、可動整備と排水機場、ポンプ整備を一体として進めていかなければならないと発言がありました。そして、協議の結果、国土交通省の新たな提案で排水機場を前川下流部に作りたいと河川事務所から発言がありましたので、市と県とで合意形成をしたところです。

回答文書の判断は誰が

位置の問題、規模等について、

まだ回答が来っていないというところですが、十六年度中（三月）までに来ると思います。回答が来たら、良いか、悪いか、誰が判断するか伺います。

市長・助役・企画で

今泉市長

国土交通省より詳細な計画案が市に示された段階で、主に執行部として、私と助役、そして企画と検討したいと考えているところであります。

前川二列河川について

役割、予算、面積等について伺います。

約六億円

根本企画財政課長

内水の排除対策ということでの流下能力の向上で、これは場所的に中流部が狭いために、この部分を二列河川ということ、県が担当する水路です。それと合わせて、市はその間の利用計画ということで、成り立っております。

二列河川につきましては、市民参加の前川を考える検討委員会、この中の協議が一番最初の始まりです。予算は、総事業費約十九億五千万の概算で三割程度です。延長は八〇〇メートル、

河川幅は二〇ないし二五メートルです。

ふるさとの川整備事業につきましては、計画書の中でも推進体制がうたわれており、その中で広報活動を行っていきます。

全国植樹祭の進捗状況は

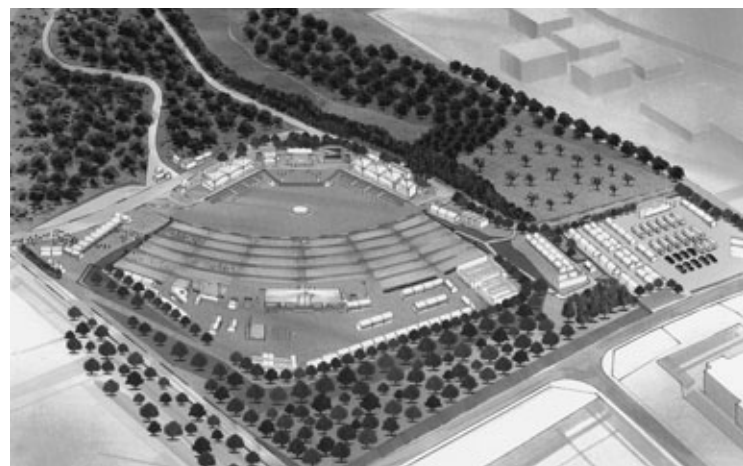
六月五日、国土緑化運動の中心的な行事として、天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、潮来市で開催されますが、現在の進捗状況を伺います。

あやめ祭との相乗効果

香取農政課長

植樹祭を契機に当該地域の活性化が図られるよう、各種要望を展開してまいりました。

要望事項は、開催時期に関すること、式典における合唱隊並びに合奏隊に関すること、参加者と警備関係者の弁当、市内ボランティアを初めとする市民参加に関すること、地元郷土芸能並びに各種催し物への出演に関すること、地元業者の出店、地元宿泊の誘



植樹祭メイン開場

導、行幸啓の際の市内施設の視察等についてであります。

六月五日に決定され、植樹祭とあやめ祭との相乗効果を期待し、関係機関と連携して努力してまいりたいと思います。

要望

潮来市をPRする良い機会ですので努力願います。

（その他の質問）

◎水門の管理、暫定対策、排水ポンプについて

一 般 通 告 質 問



芝 田 貢 議員

合併建設後期計画及び 財政計画について

前期財政計画の見直しは誤りがあり、特に地方交付税は大きな見込み違いだった。合併前の説明では、潮来牛堀二町合わせた交付税は合併後十年間は保障されるはずだった。今後、三位一体の改革のもと補助金交付金とも減りはしても、増えはしません。

後期財政計画策定に当り、国の方針、社会経済情勢等を的確にとらえ、事業計画と整合、反映させなければならぬと思うが考えを伺います。

交付税算定の 計算方法が変わった

箕輪総務部長

合併当時の財政計画は、平成

十一年度までの資料を基に作成された。その後、国の構造改革の速度が速く交付税の減少が続いております。交付税は、合併十年間は二町合わせた額が交付されています。ただ、交付税算定の計算方法が変わってしまつた。

今後の施策については、取捨選択をし、必要な事業をやるというように振るい落としていくこととなります。

事業計画について

牛堀統合小学校、潮来一中、二中と教育施設整備はほぼ計画どおりの反面、都市基盤整備や生活基盤整備の遅れが見られ、産業の振興、特に地場産業の観光の地盤沈下は、目を覆うものがあり、農業商業も同様である。

元気のあるまちづくりを目指し、どこをどのように重点的に取り組んでいくのか伺います。

①国道五一号隧道整備は後期計画に入れるのか。

②市の振興の一環としての前川を起点にしたまちづくり、前川周辺整備事業について伺います。

③大生住宅は、改築を前提としていたが、今回用途廃止する

というがどういふことか。

④十七年度から灰溶融炉を停止し解体費用が一億五千万円かかるというが、今後の進め方を伺う。

⑤鹿行広域市町村圏事務組合の管理者の潮来市長さんは、北浦霞ヶ浦の水質浄化推進にどのように取り組まれているのか。

⑥スポーツ文化の振興についてややもすると停滞が見られる。例えば、前川運動公園の整備の遅れや水郷ハーフマラソン大会の休止等が挙げられる。

さまざまな角度から検討

今泉市長

①さまざまな角度から検討します。

鈴木環境経済部長

②現在、道路の景観整備をし、水辺の公園として潤いのある街中回遊まちづくりを進めています。また、駅前を中心とした観光整備として四車線道路を歩道を広くする工事を行っています。

本宮建設部長

③入居者が少なく空き家が多い

ため取り壊し、新たな市の事業を検討していきたい。

窪谷環境課長

④解体で一億円、ダイオキシンの洗浄で五千万円かかります。洗浄は、早急にやる必要があるが、解体せずに環境学習の施設として残す考えもあります。

今泉市長

⑤現在、広域事務組合では、水質浄化に対する取り組みはなされていません。

内田教育次長

⑥クロスカントリー大会の充実を図っていきたい。さらに総合型地域スポーツクラブを立ち上げます。停滞ということはないと考えています。

やうな合併は

合併の必要性の中の一つとして、鹿行地方の中心都市として位置づけられるとあります。十五年所信表明で、市長は潮来がリーダーシップをとってさらなる合併を進めたいと言っている。現在もその考えは変わらないのか伺います。

鹿行地域三〇万人都市構想

今泉市長

茨城県内の市の中で、人口三万二千人、一〇億位の一般会計の財政であり、一番小さな市であります。鹿行地域三〇万人構想が以前よりありますが、流れとしてはその方向に行くのかと思います。

今後どこと合併の話があつても、潮来市の進めてきたまちづくりが継承できるような合併はしなければならない。

(その他の質問)

◎行財政改革調査特別委員会の提言に対する取り組みと今後の方針について

◎生ごみの堆肥化について

◎水環境整備事業について





加藤 政 司 議員

ペイオフ全面解禁に 対する対策について

につきまして、無利息型ではあります。預金債務と借入金債務との相殺のできる範囲の預金につきましては定期預金として、他の公金については、安全性を考えまして、決済用預金を導入して三月末までには移行いたします。

四月からは自己責任をさらに問われる訳ですから、保護対策等に基づいて安全性を最優先とし、さらに誘導性収益性を十分考慮して、公金の運用万全を期してまいりたいと思います。

本市におきまます公金の額ですが、二月末現在で、歳計外現金が六億五七四万六四九八円、基金が現在三二億三〇九四万二四八〇円で、合計三八億三六八万八九七〇円でございます。

再質問

取引のある金融機関の情報収集を強化し、調査機関に委託などを考えておりますか。

萩原収入役

外部等委託は、現在考えておりません。ペイオフに対する対応連絡会議等の設置を致しまして、保護対策等について対応していくという考え方です。

公金の運用に 万全を期している

萩原収入役

公金につきましては、安全性を最優先に運用を図っている。新たに導入されます決済用預金

ヘルスランドやレジャー

私は昨年六月の定例会におい

料金の値下げを考えている

窪谷環境課長

市外使用料の適正化という観点から、市外利用料で一般者を九〇〇円から七〇〇円に、市外の高齢者を八〇〇円から四〇〇円に値下げすることを考えております。市内使用料を値下げしないのは、次の三点の理由です。一点目は、近隣の類似施設と比較しても妥当な使用料の設定。二点目は、シャンプーの常備一時間延長しサービスの向上。三点目は、民間への管理委託。

ゆとり教育の反省

経済協力開発機構が十五歳対象に実施した学習到達度の結果が昨年十二月七日に発表されました。前回の二〇〇〇年に比べて、今回は、科学応用力が二位で変わらなかったが、数学的応用力が一位から六位へ、読解力では八位から十四位へ下がったそうです。近年の理数系の学力低下は否定できない事実であり、ひいては生きる力そのものも低下しつつあるのではないかと私は危惧しています。潮来の状況をお聞かせください。

中山文科相はこの点に気づいて「学力が低下傾向にあるとはつきり認識すべきだ」と述べています。「ゆとり教育」学力低下に対する根本的な解決策、考え方等をお聞かせください。

文科省の戦略に期待する

内田教育次長

ご指摘の通りです。文科省は中教審に、本格的な検討をするように指示しております。学力低下に対する解決策は、学習到達度に応じたきめ細かい指導をしております。

再質問

私の提案なのですが、土曜日の活用を何とかお願いしたい。所謂、土曜教室で学校の授業で習ったことの復習が中心で、基礎学力の低下が指摘される中、学力向上にもつながると思います。

根本教育長

土曜教室の他に夏休みを少し短くするとか、創立記念日や県民の日等を登校日とすることがよいかどうか、研究、検討して総合的に考えていきたいと思っています。

(その他の質問)

◎ノロウイルス感染予防対策について

◎第九一回全国図書館大会茨城大会(十月二六日から二八日)について

一 般 通 告 質 問



吉 川 俊 議員

市長訓示の内容は

年頭にあたり部下職員に対する訓示内容とその真意は。

職員とともに頑張ろう

今泉市長

今年の最大事業は全国植樹祭。業務の推進にあたっては、いったん政策として決断したことはどういふことがあっても推進するという気持ちで、孟子の「自ら省みて縮くんば、千万人と雖も、吾往かん」を引用した。職員と共に一年間頑張ろうという内容です。

業務執行上の最大の悩みは

厳しい財政状況の中で市長訓示であるが、業務執行に当たっての最大の悩みは。

民生費が

二億三千万円の増加

佐野市民福祉部長

財政が大変困難な中で、福祉経費が増大を続けています。民生費分については、今年度は前年度と比較し二億三千万円の増加。これからの増加が予想されます。そこで、人員・経費の削減等をしていく。日々の行政執行の中で一番心配しています。

元気で勢いある 潮来市の実現は

広報いたこ・新年特集号で「教育・環境・福祉・防災等重要課題が山積しているが、いつまでも住み続けたいと思える『元気で勢いのある潮来市』を実現します。」と述べている。どのように実現していくのか。

協働のまちづくり

今泉市長

今までの行政依存体制でなく、市民、企業、行政が切磋琢磨して協働の街を築く。市のまちづくりの最上位計画は「総合計画」。計画に沿って、教育・文化の振興、保健・医療等福祉の充実、都市基盤の整備、生活環境の整備、産業の振興等を推進していきます。

賀詞交歓会の開催は

市民が気軽に参加できる賀詞交歓会を開催する考えは。

民間主導で進めたい

今泉市長

賀詞交歓会は、市民が気軽に参加できるものになるよう、行政主導でなく経済界、商工会関係者に開催するよう投げかけをしています。

潮来市の将来展望は

市長は就任以来「人と自然にやさしいまちづくり」を基本理念に掲げ、市民が安心して暮らし、誇りと幸せを感じるまちづくりをめざしてきた。市民の声に応えるためにも、これまでの回顧と将来展望は。

働く場の確保と企業誘致

今泉市長

広域交通網の結節点としての道路・交通網の確立、主要幹線道路の充実、水郷バスターミナルの開発、日の出地区などの宅地開発とライフラインの充実、生活環境の充実、教育施設の充実、道の駅「いたこ」の整備による産業振興と交流促進、ヘルスランドさくらの開業。農業生産基盤整備も進んでいます。

今後は働く場の確保と企業誘致、安心・安全を最重要課題として定住の促進とこれまで積み上げてきた政策資源ソフトを有効活用して「元気あるまちづくり」を進

めてまいりたい。

植樹祭会場跡地の利活用は

全国植樹祭会場跡地とその周辺を利活用して、森のコンサート、県内唯一のクロスカントリー、「フジヤマの飛び魚」と言われた古橋広之進日本オリンピック委員会顧問を中心に準備が進められているという二〇〇五年日本学生デュアスロン選手権大会を誘致しては。

県の指示に従いたい

香取農政課長

植樹祭会場の跡地利用は、水郷県民の森検討協議会等の意見等を伺い県へ要望していきたい。森のコンサートが実現できれば素晴らしい。クロスカントリー、デュアスロン大会の準備が進められているようですが、利用は県の指示に従いたいと思います。

適正職員数は

潮来市の職員の適正数は何人か。市は職員を削減し新規採用を抑制しているが、組織の硬直化が懸念される。先見性をもつ企業は、今こそ優秀な人材を確保している。将来を思うと若干名でも採用すべきでは。

国基準は二九五

久保木総務課長

平成十六年の国基準は二九五人が適正数。市の第二次定員適正化計画では、平成二十三年には二六〇人が目標です。

雇用計画を策定中

今泉市長

市の将来にかかわることと認識し雇用計画を策定中です。現在是一般事務職の採用は控え、専門職の職員を採用しています。

職員提案制度の実績は

行政サービスの向上と効果的行政運営をめざし、職員一人あたり一提案×三年＝約九百提案を目標としている。その実績と今後の取り組みは。

新大綱には十二項目を採用

矢幡行政改革推進室長

事務事業の改善を推進するため、業務改善運動と事務改善提案を設定した。平成十五年度三九件、十六年度六四件が提案された。このうち新大綱には十二項目採用しています。提案制度は職員の業務改善と士気高揚にも重要であると認識しています。

(その他の質問)

- ◎県南部直下地震について
- ◎地域の活性化対策について
- ①あやめの里水郷潮来をめぐる道
- ②特殊公衆電話ボックス

一 般 通 告 質 問



橋本 きくい 議員

の分離方式によって、那珂川から霞ヶ浦に通じる水路を掘っていたが、堅倉の立抗から二〇mのところは巴川が流れており、私共が想像していた以上の良い条件にめぐまれたと実感いたしました。

へドロ対策について

私は昨年十二月の議会において、北浦の水をきれいにする市民の会とかかわりあいについて、市の答弁を戴きましたが、実はその後、平成十七年二月二四日に鹿行の市町村の代表者と各種団体の代表者合わせて一〇〇名以上の方々の御参加を戴き意見交換会をさせていただきました。

お陰様にて、各市町村の方々のご賛同を戴き、潮来市同様賛同者の署名をお願いすることになりました。二月十六日には、霞ヶ浦導水事業の現地視察を四〇名の参加者と共に行いました。

茨城町の立抗を視察してまいりました。現代科学の推移から、想像もつかなかった土と水

してじつとしてはいられない。今から道の駅周辺の開発を考えなければならぬ。勇気ある決断をするのは誰か。

今後の対策について

北浦の水がきれいになって、北浦に船を浮かべ、東京方面より客を呼び釣りを楽しむ人も増える観光船も大きいのが必要になって来るのかなと思うのです。

ともあれ将来の玄関口として道の駅周辺に市役所、多目的ホールが必要になってくる。潮来市も合併後五年になろうとしておりますが、私共三〇団体の女性の二〇年に亘る社会参加への夢をみながら、また自己研鑽に努め、またリーダー研修を重ねたら、四回の女性議会を踏まえ、平成十六年十二月十二日には内閣府と共催による男女共同参画宣言都市記念事業を開かせていただきました。

一〇〇以上の男女が集まりました。そして、活動のプロセスを感じたら保守的な潮来の風土を変えようと努めて来しました。市議会議員、農業委員も十年前に選出して潮来のパワーを社会

に発表してまいりました。

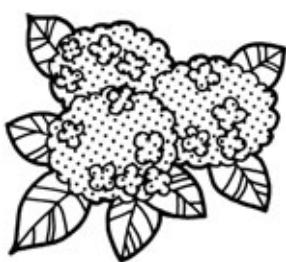
だが昨年合併後、農業委員の選出については、国や県から農業委員を推薦して戴くようにとの指導があったにもかかわらず、合併後理解されず人員削減のやり玉に上がった事は誠に残念でありました。その様な過程の中で育てることの出来ない指導者達の男性社会の名残りが中々抜け出せないプロセスを感じた。この次の改選には、またどのような体制になるか楽しみである。

そうしたもろもろの男性社会のあたりを受けとめ方についても、当然不安があったが、水が人間の命と受けとめ、市民の皆さんの理解をいただいて、今日の活動につながったことは全くうれしいことと思う。そして驚いております。

三月十一日、十四日休会を利用して鹿島郡にお願いにまいるつもりです。二〇〇億円以上の予算が必要になっておりますので、鹿行二郡が一つ心になって国にお願いすることが一番大事だし、一市町村だけの問題ではないので、潮来と同じように各市町村に二〇〇名以上の賛同者が必要なので、そのお願いに

歩くことにしました。各市町村とも理解して戴いて各種団体を通して、現在進めて下さっております。

市長、部長の答弁については、十二月の答弁と同一に感じましたので、改めて報告は致しませんのでご了承下さい。



一 般 通 告 質 問



今 泉 利 拓 議員

潮来市の基金“貯金”と起債“借金”について

潮来市では、使用が決められているものを除く基金で、一般財源用に使える基金（貯金）は、潮来・牛堀両町の合併直前（平成十二年度末）、どれ位残っていたか。それで、平成十七年度（今年度）の予算編成後の時点では、いくらになっているか。

基金は減っている

箕輪総務部長

合併直前、平成十二年度末、旧潮来町の基金残高は、七億二千九百八十四千円。旧牛堀町は、七億五千八百八十九万三千円。両町合わせると、十四億九千八十七万七千円。平成十七年度の基金残高は、三億七千五百八十八万七

千円。

再質問

起債（借金）の残高は、どうなっているか。市民一人当りの残高はどうか。

箕輪総務部長

合併直前、旧潮来町の起債残高は、一般会計・特別会計合わせて、一二四億二千五六万八千円。町民一人当り、四七万六三〇円。

旧牛堀町は、四四億三千六百四十六万一千円。町民一人当り、七一万二千六八四円。それに、潮来・牛堀二町環境衛生組合分の起債残高が、十三億五百三二万九千円。合併直前の総地方債の残高は、一八一億六千二百三十五万八千円。一人当り、五六万二三〇二円。

平成十七年度、予算編成後の起債残高見込み額は、一般会計・特別会計合わせて、二二六億四千七百七十一万三千円。市民一人当り、（これは一月末の人口で）七二万二〇三九円になる。

合併直前より、“貯金”は減。“借金”は増。市長の考えは。

新しい事業、大きな仕事を進めるためには、基金を取り崩し、

起債を起こす。普通の家庭も同じ。貯金を下ろし、借金もする。これは止むを得ない。

然し、数字を見ても、基金（貯金）は減り、逆に起債（借金）は増えている。このままでいくと、潮来市はどうなるのか。

心配になる。今こそ、今泉和市長の出番だと思う。市長は、私と違って、五〇人もの従業員を雇う会社を、自分の手で作り上げ、今も素晴らしい業績を上げ続けている。私にはない企業感覚、経営感覚が、今泉和市長にはある筈だ。それが私を町長選挙で破った大きな要因でもある。

まさに今、潮来の財政状況は、危機的状態にある。ここで潮来市の財政状況を良くするために、企業人、今泉和の財政危機突破のサブライズ策。今泉和市長でなければ考えつかないサブライズ策をお聞きしたい。

地道ながら、無理のない政策を進める

今泉市長

行政経営の場合、貴重な税金をいただき、いわゆる公金を投資しながら市民の負担にこたえるわけだから、十の事業のうち、

九の事業に成功しても、一の事業に失敗すれば、市長に対する追求は相当のものがあるだろうと思う。

貴重な税源を使つてのまちづくりを進める訳だから、驚くような政策は、私はやるべきでないと思う。市民の皆さん方の負担にこたえるために、地道ながら無理のない政策を進める。

潮来の“長”として、十年経過、懸案事項をどうする

「水郷有料道路の無料化」、「市内幹線道路沿いの土地利用の規制緩和」、「県道大賀延方線と県道潮来佐原線の直結」など諸懸案事項について、平成十七年度市長は県当局に対し、どういう働きかけをし、どういう成果を勝ち取ろうとしているのか。

県に対し、引き続いて要望、要請をしていく

今泉市長

「水郷有料道路の無料化」については、県道潮来佐原線の開通に伴い交通量の分散により、交通量も減少している。引き続き茨城県に対し、要望活動をし

ていく。

「幹線道路沿いの規制緩和」については、潮来インター周辺地区の面的な規制緩和。県道水戸神栖線及び潮来佐原線沿線における幅広い土地利用の推進は、市にとっても、地域振興と自主財源確保のために重要と考えている。今後も市の重要案件として、引き続き要請していく。

「県道大賀延方線と潮来佐原線の直結延伸」については、今年度、茨城県道路建設課と随時調整会議を開催するよう働きかけをしている。引き続き整備促進の努力をしたい。

（その他の質問）

◎潮来市へ、法務局麻生支局（現鹿嶋支局）。県立鹿島養護学校分校の誘致を検討してはどうか。

◎議会採択の市民要望には、調査費などをつけ、積極的に対応すべきではないか。

◎北浦の水をきれいにするため、大生原北部の農排事業の普及率向上に、どう取り組むのか。

◎ベイオフの全面解禁について。

一 般 通 告 質 問



塚 本 誠 一 議員

危機的財政事態とは

市長所信で、当市の財政状況は危機的な事態と述べられていますが、危機的事態とはどのような状況なのか説明を願う。また、何故危機的事態になったしまったのか。改善のための方策と目標年を伺う。今後徹底した行財政改革を推進する決意が述べられているが今後の方針を伺う。

来年度財源不足で 予算が組めない事態も

今泉市長

毎年、質の高い行政サービスを提供したいと予算編成に臨んでいます。ここ数年は財源不足を基金の繰入れで補っています。財政調整基金、減債基金、公共施設整備基金を合わせて約

三億七五〇〇万円の残高しかない状況であります。この間、行財政改革に積極的に取り組み、事務事業の効率、事業の見直しの実施に努めています。現在の行政サービス水準を続けるのであれば平成十八年度財源不足のため、予算が組めないという事態を恐れているところです。

なぜこのような事態になったということは、地方税収入の低迷が挙げられます。一方、歳出で義務教育施設の改築と新設、ダイオキシン対策などの環境整備などの大規模事業が続き一般財源に影響をしているのが主要要因であります。

手綱を緩めることなく推進

矢幡行財政改革推進室長

今後、行財政改革の方針を決定し積極的に推進し、簡素で効率的な行政を構築し、財政の健全しをし、行財政運営の改善、透明化、市民の利便性の向上を図ってまいります。

自主財源確保のための 企業誘致について

①平成十六年度の誘致活動の成果を伺う。

②企業誘致促進のためより立地しやすい条件整備をするとして述べているがその内容を伺う。

③今後の活動方針を伺う。
④企業誘致用地への誘致完成目標年と税収、雇用者数の見込みは。

⑤自主財源確保の方策として何を求めているのか伺う。

二社が建設中

根本企画財政課長

①二社が操業開始、二社が建設中、一社が協議中です。②流通関連業務の企業と限られていますが、土地利用の関連規制法、都市計画法に基づく開発基準の規制の緩和の要請を行い製造業等への業種拡大、これらの規制の緩和を関係機関へ働きかけを行っていく。③現行の開発規制法の解除を踏まえつつ、より広範な誘致活動を進めていきたい。④現段階では、全体計画は持ち得ていません。⑤地場産業の育成の対策と歳出の抑制等の対応をしていくということです。

指針を示せ

商業、観光の発展は、単に業者のやる気の問題ではなく、行政側の方向づけの役割もあると考えます。行政と事業者が連携をし復活したり、脚光を浴びているところも全国にはあります。今後の方向性を伺う。ま

た、各種規制緩和を含めての特定制の活用と中心市街地活性化のための地域再生法の活用を提案してありますが、その後の考え方を伺う。

市と民間が一体となって

鈴木環境経済部長

既存商店街活性化支援事業への積極的な取り組みを行っていき、また、道の駅の機能を活用してもらい商品の定着化と既存商店街への誘導を行っていきたい。

根本企画財政課長

特区について、民間事業者と連携を深めながら取り組んでまいりたい。地域再生法も、民間事業者、あるいはNPO法人等が受皿ですの手を結び進めるのが有効策を考えています。

施設の充実と 学力向上は一体で

今泉和市政は、教育優先の方針の下に十年の中で、日の出中学校、潮来第一中学校、牛堀統合小学校、現在潮来第二中学校建設中です。財政悪化の中、市民にも痛みを伴ってらったの学校建設であります。学校施設は立派しかし学力は低下では意味がありません。施設の向上と

学力の向上は、一緒でなければ意味がありません。今子供達の学力低下が問題化されていますが潮来市の学力度と今後の学力向上策について伺う。

子供達は頑張っている

根本教育長

茨城県の最高レベルの県知事賞、県教育長賞等表彰を受ける優秀な子供たちがおり、頑張っています。学力向上対策としては、授業改善が大事と考えております。習熟度別指導・ティームティーチング・少人数指導等工夫しています。

教職員の資質の向上を図ることも重要で研修を充実させて参りたいと考えております。

(その他の質問)

- ◎少子化対策と人口増対策について
- ◎有料道路早期無料化実現について
- ◎ミニ市民債発行の提案
- ◎特別職の報酬5%カットを平成十七年四月からも継続を
- ◎企業誘致に開発公社の充実と市長の積極的な活動を
- ◎企業者及び商品開発に対し行政の指導と援助を
- ◎観光農園予定地の活用計画策定を
- ◎有料道路無料化のため、神栖町と協議連携を

議会議員活動日誌（10～3月）

日にち	活 動 内 容	参加議員	日にち	活 動 内 容	参加議員
10月3日		議長	12月20日	環境経済委員会協議会	議長・環境経済委員
7日	議長杯クロッケー大会	議長	24日	市立図書館安全祈願祭	全議員
8日	潮来第二中学校安全祈願祭	全議員		歳末パトロール激励	議長
	日の出地区まちづくり懇談会	関係議員	26日	身体障害者福祉協議会クリスマス会	議長・教育福祉委員長
9日	水戸烈士140周年記念祭（～10日）	関係議員	1月4日	御用始め	議長
10日	身体障害者福祉協議会運動会	全議員	8日	出初式	正副議長・各委員長
12日	中学生海外派遣出発式	議長	9日	成人式	全議員
	津知地区まちづくり懇談会	関係議員		道の駅マラソン大会	議長
13日	東関道潮来鉾田線期成同盟総会	議長	11日	明日の茨城をめざす新春の集い	議長
	大生原地区まちづくり懇談会	関係議員	12日	議員定数調査特別委員会小委員会	正副議長・関係議員
16日	青少年のつどい	全議員	15日	玉造町町制施行50周年記念式典	議長
19日	県市議会議長会定例会	議長	20日	郡負担金審議会	議長
	延方地区まちづくり懇談会	関係議員	24日	総務委員会協議会	総務委員
20日	福岡県宮田町議会来庁	議長	25日	県市議会議長会定例会（～26日）	議長
21日	牛堀地区まちづくり懇談会	関係議員		農業委員会新年会	副議長
22日	全員協議会	全議員	28日	全員協議会	全議員
	潮来地区まちづくり懇談会	関係議員		議員定数調査特別委員会	特別委員
25日	議会運営委員会研修視察（～26日）	議長・議会運営委員		委員長会議	正副議長・各委員長
26日	区長会研修視察（～28日）	議長		広報委員会	広報委員
27日	県北鹿行市議会議長会定例会	議長		南部工業新年会	議長
11月1日	県市議会議長会議員研修会（～2日）	各常任委員長	2月1日	東関東潮来・鉾田間早期要望活動	議長
2日	女性議会	全議員	2日	県北鹿行市議会議長会視察研修（～3日）	議長
3日	潮来・延方・大生原地区運動会	地元議員	4日	和歌山県かつらぎ町議会来庁	議長
5日	議員定数調査特別委員会小委員会	関係議員		議員定数調査特別委員会	特別委員
7日	日の出・津知・牛堀地区運動会	地元議員	7日	環境経済委員会協議会	議長・環境経済委員
8日	福島県会津本郷町議会来庁	議長	8日	区長会視察研修（～10日）	議長
9日	鹿行政経懇話会	総務委員長	9日	東京都荒川区議会来庁	環境経済委員・関係議員
10日	環境経済委員会	議長・環境経済委員	13日	身体障害者福祉協議会新年会	議長
11日	青森県上北郡町村議会議長会来庁	議長	14日	茨城県森林林業活性化議員連盟交流会	議長
12日	中学生海外派遣報告会	議長・教育福祉委員	16日	北浦の水を考える会現地見学	関係議員
14日	牛堀商工まつり	副議長		国保運営協議会	議長
	菊花展示会表彰式	環境経済委員長	18日	予算内示会	全議員
	大生神社例大祭	議長	19日	福祉大会	全議員
16日	J A祭典なめがた潮来ホール落成式	議長	20日	文化講演会	全議員
17日	福岡県宮田町議会来庁	議長	21日	議会運営委員会	議長・議会運営委員
19日	第1回臨時会	全議員		教育福祉委員会協議会	議長・教育福祉委員
	議会運営委員会	議長・議会運営委員	22日	神栖町・波崎町合併調印式	議長
21日	市民文化祭開会式	関係議員		総務委員会協議会	総務委員
22日	教育福祉委員会	教育福祉委員	23日	鹿行地方広域市町村圏事務組合議会	関係議員
24日	環境経済委員会協議会	環境経済委員		建設委員会協議会	議長・建設委員
25日	宮城県築館町議会来庁	議長	24日	北浦の水を考える会	全議員
	行方郡教育振興大会	議長	25日	全員協議会	全議員
26日	総務委員会	総務委員		議員定数調査特別委員会小委員会	正副議長・関係議員
	建設委員会協議会	建設委員	26日	雪祭り	議長
29日	鹿行広域事務組合議会	関係議員	27日	全国植樹祭100日前イベント	全議員
30日	全員協議会	全議員	3月2日	羽成ファッションスクール卒業式	議長
	議員定数調査特別委員会	全議員	3日	議会運営委員会	議長・議会運営委員
	委員長会議	議長・各委員長	6日	霞ヶ浦北浦清掃大作戦	全議員
	民生児童委員離任式	議長・教育福祉委員長	7日	定例会（～18日）	全議員
12月2日	議会運営委員会	議長・議会運営委員	9日	各市立中学校卒業式	地元議員
	民生児童委員委嘱状伝達式	議長・教育福祉委員長	13日	文化協会芸能音楽祭	議長
3日	国道51号バイパス要望	議長	24日	悠々塾閉校式	議長
5日	スペシャルオリンピックトーチラン	全議員		開発公社評議委員会	議長・関係議員
	赤須熊野神社例大祭	副議長	25日	水田農業推進協議会総会	議長・関係議員
6日	第4回定例会（～14日）	全議員		区長会総会	議長
8日	鹿行地区障害者記念集会	議長・教育福祉委員長	29日	シルバー人材センター総会	議長
12日	男女共同参画宣言都市記念集会	全議員		全国植樹祭市実行委員会	議長
14日	活躍する作家展	議長・教育福祉委員長	31日	教職員辞令交付式	議長
15日	交通安全街頭キャンペーン	議長		民間交番防犯センター開所式	議長
	水田農業推進協議会	議長・環境経済委員長			

議会を傍聴して



若 槇 君 子 さん

麗らかな春の陽差しの中、平成十七年三月議会定例会を拝聴させて頂きました。議員の皆様は、私たちの代表として頼もしい方々ばかりと、改めて期待を寄せた次第です。

まず、一般通告質問に関しましては、多岐に渡つての念入りな下調べを自分の目で、足で、集められ、執行部に、全て理解して戴きたいと言う真摯な姿勢が感じられ感動致しました。

質問事項一覧表にも、それぞれ質問者の重複している項目がありますが、これもどの部分に力を入れているのか、内容に違いがある事が分かり、機会があればどの質問をも傍聴してみたいです。

また、賛否を表決する議案に対しては、市の未来がかかっているわけですから、事前に市民

に参考意見を求めておくと、それぞれの議員さんも公平な、かつ多方面からの視野に立って、冷静な決断が、より可能なのではないのでしょうか。これはまた、小さな市だからこそ出来る事ではと思います。市民が周知できるのは、議会だよりや新聞折込等の報告であると思います。それはあくまでも結果であるため、あとのまつりになりかねません。最後の最良決断が、市民の納得のいくものであつて欲しいものです。

執行部の財政も、「今は何をやるかではなく、何を削るか」の状態であるとの事、人伝えに聞いてはいましたが、市長自らの言葉、驚きましたが、この現状を、ただ予算が無い、金が無いだけでなく、具体的に説明して戴ければ、市民も、議員の

方々に無理な要望も言わずに、今は我慢の時と心する事でしよう。そして、シーズンだけ活気のある観光事業ではなく、常設の年中安定した財源確保と共に、広い雇用の方法等、思いもよらぬ知恵が寄せられるかも知れません。

総人口も減つて来ています。私たちの所もそうですが、この四月、新一年生の居ない町内が他にもあるそうです。若い人達が居着く環境こそ、潮来市の発展に繋がると信じます。

私たちは、執行部や多くの議員さんの報告を見聞きして、市政に関心を持ち、また協力を惜しみません。そして、議員の皆様には、歴史ある市の発展と、ますます住み良いまちづくりのため、ご健闘をお願い申し上げます。



議会を傍聴して



八代地域女性団体会長

明間 愛子 さん

平成十七年第一回潮来市議会定例会を傍聴し、市議会議員の皆様が、多くの議案について慎重審議をされておられる様子を拝見し、深く敬意を表したいと思います。

最近、男女が平等で自由な生き方を目指して男女共同参画推進事業等が活発に進められ、女性の意見が尊重されつつあり定着してきているようです。私達も自覚を持って自分の言動に責任を持つ必要から、今回地域女性団体の会長として地方自治研修の意味からも議会を傍聴致しました。潮来市議会には、二名の女性議員がおられますので非常に心強い感が致しました。女性議員として、生の声を議会に届け充分のご活躍をされてお

られますが、今後も、女性の視点や感性を生かした活動をして頂きたいと思います。

先般私も、第四回模擬女性議会に参加させて頂き、貴重な体験を得ることが出来ました。その後の議会傍聴でしたので、緊張することもなく真の議会の姿を見ることが出来た収穫の多い議会傍聴でした。議会を傍聴することは、市政を知る上で最も良い機会であると思いました。これまでは、行政に対し求めることはあっても自分には何も出来ないだろうと思っておりましたが、小さな事でも出来ることから始まり政策決定の場である市議会に対し私たち女性の生の声を、地域づくりや子育て支援等市の政策に反映して、どん

ん吸い上げていつて戴きたいと思いました。議員の方々の一般質問については、それぞれの特色を持つて、あらゆる角度からの質疑答弁であり非常に勉強になり、各議員の皆さんの熱意を感じました。機会がありましたら、また、是非傍聴したいと考えております。

最後に、地方分権の時代を迎え少子高齢化や環境問題等、さまざまな課題が山積されておりますが、地域の個性を最大限に生かし、潮来市が住み良い市として発展し、豊かで多様性のある活気溢れる地域社会の実現に向けて、各議員及び執行部の皆様の益々のご努力を心よりお願い申し上げます。



埴 議長

県市議会議長会

副会長

県北鹿行市議会

議長会会長

に就任



四月十二日に開催された県北鹿行市議会議長会総会において会長に、また十三日に開催された茨城県市議会議長会総会において副会長に埴議長が選出されました。

今後ますますのご活躍を申し上げます。

311-2493

潮来市辻六二六

潮来市議会議長宛

議会からのお願い

市議会議長あての文書・案内状などは市議会事務局へ送付下さるようお願いします。



編集後記

潮来市議会を傍聴しませんか。平成十七年第一回定例会から議会の開会とともに市政一般に関する通告質問の日程についてもお知らせすることとなりました。

本会議は誰でも傍聴できます。傍聴を希望される方は、市役所二階の総務課で受付をし傍聴券を受け取り入場してください。市民のみなさんが選んだ代表がどのようなことをどのように審議しているのかをご覧いただけます。

この「議会だより」は、議会広報委員会が中心になり纏めておりますが、限られた紙面ですので内容を十分お知らせすることは困難です。「元気で勢いのある潮来市」実現のため、市民のみなさんの代表がどのように取り組んでいるか、またみなさんも潮来市が元気になるようご支援をお願いします。

本会議等の日程・開会時間、常任委員会・特別委員会の傍聴については、議会事務局にお尋ねください。

(吉川 俊)

議会広報編集委員会

委員長 栗飯原治雄
副委員長 内田 正一
委員 篠塚貴美子

柚木 巖
吉川 俊